

WEEKLY REPORT

【例会場・事務局】
〒197-0832 東京都あきる野市上代継600
東京サマーランド スポーツクラブハウス
TEL.042-533-3992 FAX.042-533-3993

Rotary
第2580地区



持続可能な
インパクトを
生み出そう

東京秋川ロータリークラブ
2026-27年度 3号

2026年7月16日
第2451回例会

出席報告	会員	出席	欠席	免除	出席率
	40	28	12	0	70.0%

本日のテーマ

委員長方針

次回以降のプログラム

7月23日(木) 取りやめ(祝日のある週にて)
7月30日(木) 夜間例会 お疲れ様会
8月 6日(木) 全員協議会

第2450回の出席率訂正 会員40名 出席32名 メークアップ4名 欠席4名 免除0名 訂正出席率 90.0%

会長方針

思いやりを持って社会貢献し、友情を深めよう

会長報告 町田 勝俊 会長

今週は柳幹事とともに、東京青梅ロータリークラブ並びに東京福生ロータリークラブへ表敬訪問を行いました。両クラブから大変温かい歓迎とおもてなしを受け、今後も近隣クラブとして協力しながら活動していくことを確認しました。

また、あきる野市長、日の出町長、檜原村長ならびに各市町村教育長へ就任のご挨拶を行い、クラブ活動へのご理解とご協力をお願いしました。

『怒涛の一週間ではありましたが、多くの方々との出会いがあり、大変貴重な経験となりました。今後も思いやりを持って地域とのつながりを大切にしていきたいと思います。』

ホームページ更新のお知らせがありました。会員ページや各種情報、最新の週報が掲載されていますので、内容をご確認いただき、修正・追記等がありましたら週報委員会までご連絡ください。

幹事報告 柳 新次 幹事

①日韓親善会議のご案内

2026年10月26日(月)、神戸ポートピアホテルにおいて「日韓親善会議」が開催されます。開催時間は13時から21時まで、登録料は35,000円です。参加をご希望の方は、9月17日(木)までに地区から案内されているGoogleフォームよりお申し込みをお願いいたします。ご興味のある方は、ぜひご参加をご検討ください。

②「意義ある奉仕賞」について(再度のご案内)

前回の幹事報告でもご案内いたしましたが、「意義ある奉仕賞」の申請受付が始まっています。

本年度、特色ある奉仕活動を実施されたクラブは、2027年3月12日(金)までに国際ロータリーのウェブサイトから申請をお願いいたします。該当する委員会や担当の皆様は、ぜひご検討くださいますようお願いいたします。7月30日(木)の夜間例会(直前会長・幹事慰労会、新入会員歓迎会)および8月27日(木)の『鮎の塩焼きを食べる会』への参加協力について案内がありました。

——今週の気づき——

ロータリーは、一人ではなく委員会で力を発揮する組織なんだな。

委員長報告を通して、それぞれの委員会がどのような思いで活動し、どのような一年を目指しているのかを共有していただきます。ぜひ皆さんも、自分の委員会だけでなく、他の委員会の活動にも関心を持ち、思いやりを持って、みんなで支え合う一年にしていきたいと思います。

— SAA委員会 — ニコニコ 発表

合計金額 **3,000円**

- ・中村 一広 君 早退いたします。
- ・栗原 剛 君 早退いたします。2回目ですが申し訳ありません。

委員長方針発表

各委員長より、本年度の活動方針が発表されました。

- ビジョン戦略委員会：中長期ビジョン策定とクラブ運営支援
- ロータリー情報委員会：ロータリー理念と『四つのテスト』の周知
- プログラム委員会：AIを活用した卓話や魅力ある例会企画
- 出席奨励委員会：出席率向上とメイクアップ推進
- 週報・IT・公共イメージ委員会：ホームページ・SNSによる情報発信強化
- 会員増強委員会：新入会員10名を目標に会員全員で増強活動
- 親睦委員会：夜間例会や鮎の塩焼きを食べる会など交流事業
- 職業奉仕委員会：AI活用による職業奉仕の推進
- 社会奉仕委員会：地域に根ざした奉仕事業の継続
- 青少年奉仕委員会：時代に合わせた青少年育成活動
- 育成協力委員会：秋川消防少年団支援
- 国際奉仕委員会：ポリオ根絶・姉妹クラブ交流・国際大会参加推進
- ロータリー財団委員会：財団への理解促進と寄付協力
- SAA：品位ある例会運営



岡野 悦史 君



田代 淳也 君



瀬戸岡 正人 君



佐藤 慶 君



沼田 哲史 君



松村 和夫 君



平尾 義和 君



Zoom出席

会長講評

町田会長より、各委員長への感謝とともに、『一年間、思いやりと友情を大切にしながら、委員会同士が協力して魅力あるクラブづくりを進めていきましょう。』との講評がありました。

◆編集 週報委員会 担当 佐藤 旭克